



こっちも頑張ろう!! / 下には海があるのかな?

砂場の下はどうなっている...?

海かな?

宝があるのかな?

アメリカかな?

お金があるかも!?

よしよ!

まだまだ!!



みんなと一緒にやろー!!

私も手伝うよ!!



足がすっぽり入っちゃったー!!

落とし穴ドッキョバで落ちちゃうよ!



深いなー!!

スコップをチェンジ!!

どんどん深くなってる!!

私は砂を
外に出さね!



砂の色が変わってるよ!

砂場あそびを通して...

外あそびをしている際、「この下には何かあるのかな？」の一言から砂場あそびが中台まりました。

まずは小むなトコツトから中台まり何かあるか考えながら掘っていました。「海かな？アメリカ？もしかしてお金があるとか!？」など子どもたちの想像がどんどん広がっていきました。小むなトコツトで頑張っていました。かたじけなく手を届かなくなってしまうとどうしたら良いか考え長いストコツトに変更しました。しかし、器が小さく多くはすぐうしとがでまませんでした。そこで子どもたちは被害を考慮掘る人、すくい上げる人へを2つに分かれていました。一生懸命掘っている姿を見て周りにいた子どもたちも協力しあそびが広がっていきました。同じ学年だけでなく他の学年の子たちも加わり、「水を入れたらやっやすすんじやない？」など意見を出し合いみんなが対戦を繰り返していました。

そして、異年齢との関わりや協同性、言葉による伝え合いもいっしょに育ちが見られました。

一日では終わらず後日も同じメンバーで継続してあそびが繰り返されました。後日には新たな発見がありました。

砂場を掘っていくうちに砂の色が変わり土の匂いや物へも変化していきました。子どもたちは匂いにも気づき、なんで違うのか匂いも全部一緒なのか疑問に思ったり掘ってみるといふことになりました。砂は砂でも硬さや色の違いも実際に触れて感じることから新たな疑問が生まれ、みんなが試してみたり知らなかったことが知るきっかけにもなりました。

当初言っていた砂場の下には何もないと伝えていたが、子どもたちの表情からは達成感を感じている様子が見えました。

普段山を作ったり、型板も、川なども作ってあそんでいる身近な物でもそこから砂の性質などにも気づき、考えたり、「〇〇から色が変わったのはなぜか」などを予想したりして楽しむ姿がありました。また、自分とは異なる意見を聞き考えたりすることを楽しんでいる様子でした。このことから思考力の芽生えが育ち始めているのではないかと感じました。

子どもと一緒に疑問に思ったり考えたりすることも試してみたいと思います。そして匂いや発表などの、何か図鑑のような物など共有できる機会を今後増していきたいと思います。

<10の姿>
・健康な心と体。自立心。思考力の芽生え。協同性。言葉による伝え合い